WOLFVISION Visualizer

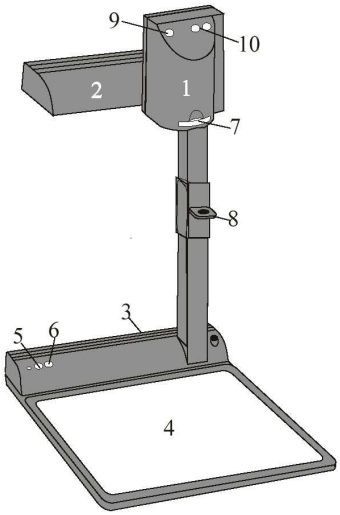
WOLFVISION ビジュアライザー

ポータブルシリーズ

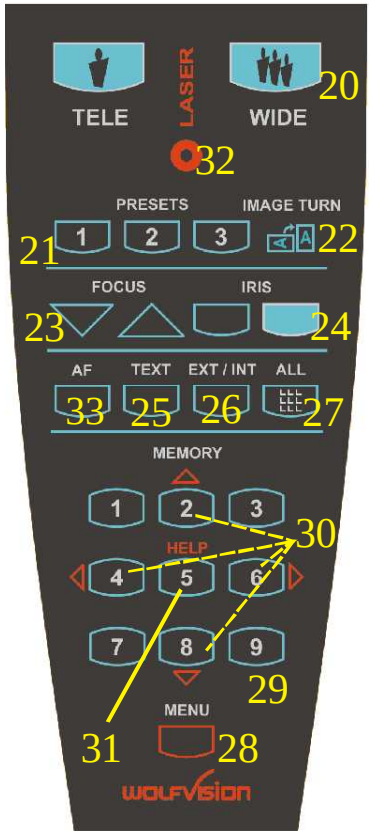
VZ-8plus

取 扱 説 明 書

この度は、ヴォルフビジョン ポータブルシリーズをお買上げいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。



リモートコントロール



コード:

プリセットの保存: PRESET (#21) キーのいずれかを 2 秒押す。

画像の保存: MEMORY (#29) キーのいずれかを 2 秒押す。

オンスクリーンメニューの表示: MENU (#28) キーを 1 秒押す。

Sync on green オン/オフ:

カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 1 (#29) を同時に押す。

Sync モードの切り替え (C と VD/HD):

カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 3 (#29) を同時に押す。

出力モードの切り替え:

より高いモード: カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 2 (上矢印) キー (#29) を同時に押す。

より低いモード: カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 8 (下矢印) キー (#29) を同時に押す。

XGA1024x768 (HD/VD-Sync で 75Hz) のデフォルト設定にリセットする:

カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 5 (番号キーの中央) キー (#29) を同時に押す。

ビジュアライザーのメニューをリセットする:

カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの 4 (左矢印) キー (#29) を同時に押す。選択した項目だけをリセットする場合には、リモコンの 5 (#31) キーを 2 秒押す。

ビデオ出力 (PAL または NTSC):

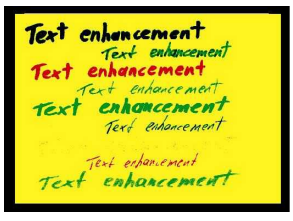
PAL: カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの Preset1 (#21) キーを同時に押す。

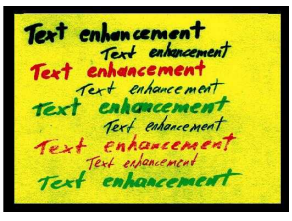
NTSC: カメラヘッドの 2 つの ZOOM (#10) キーとリモコンの Preset2 (#21) キーを同時に押す。

素早いメモリーの保存と消去:

ALL (#27) キーを 4 秒以上押す

文字誇張機能 (カラー)





"TEXT"キーを押すと、画像のコントラストが劇的に向上します。文字やスケッチ、X線写真を見やすくしたい場合に便利です。

＜安全に関するご注意＞

警　告

製品内部は高電圧のため
感電の恐れがあります

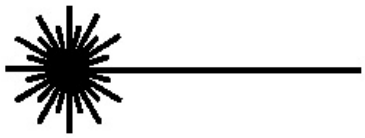
2003年8月

注意： 危険を避けるため、ヴォルフビジョンを改造したり、本体内部を開けたり
しないでください。ヴォルフビジョンのサービス担当者にお任せください。

警告： 発火や感電をさけるため、本体が極度に高い熱や湿気などにさらされない
よう気をつけてください。

警告： 外部電源は CSA（カナダ規格協会）または UL（米国保険業者安全試験所）
認定の CSA22.2-60950 または UL1310 以外は使用しないでください。
出力は NEC（米国電気工事規格）パワークラス II と SELV を使用して下さい

内蔵レーザーポインターに関する注意：

ご注意
レーザービームを凝視しないで下さい。  650nm, P＜1mW, tp＜6ms CLASS II レーザー製品

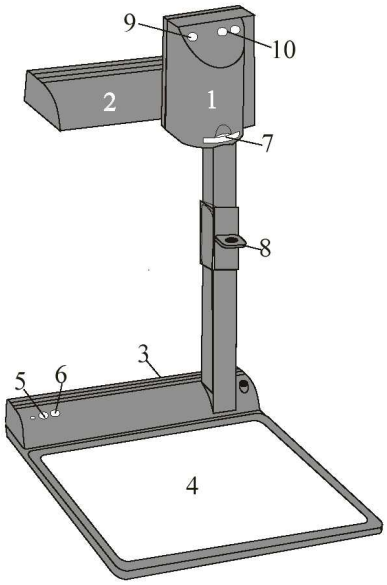
遮断厳禁
レーザー光線は
この穴から発しています

レーザー光線を凝視しないで下さい
CLASS II レーザー製品
出力電力：＜1mW
周波数：650nm
EN 60825-1　1997 年 3 月

CE	この製品は、 EMC 規格令と電子装置規格令に基づいて製造されています
c SP® US	UL60950 に従った品質検査証明： CSA22.2-60950
FCC	この装置は FCC（米国連邦通信委員会）規制 15 条に基づいて検査され製造されたものです。以下の環境でご使用ください。①この製品が周囲に障害を引き起こさない ②望ましくない使用の原因となるものを含めた障害を受けなければならない

この製品は、オーストリアの Wolf Vision 社によって開発・設計・製造されたものです。
Wolf Vision GmbH, Vlbg. Wirtschaftspark, A-6840 Götzis / AUSTRIA
Tel. ++43-5523-52250, Fax. ++43-5523-52249, E-Mail: wolfvision@wolfvision.com

＜ヴォルフビジョン VZ-8plus、各部名称＞

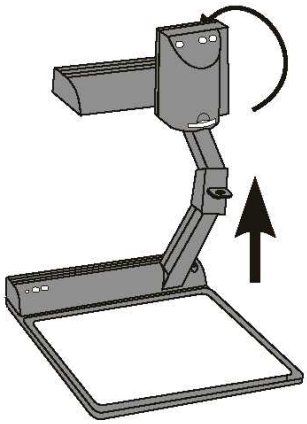


1. カメラヘッド
2. ライト
3. コネクター(下記参照)
4. ワーキングプレート
5. 電源オン/オフ スイッチ
6. ライトスイッチ
7. カメラ用クローズアップレンズ
8. 折りたたみ用リング
9. オートフォーカス オン/オフ スイッチ
10. ズームスイッチ

接続端子

11. コンピュータ用外部入力端子(P.9 参照)
12. DVI 出力端子 (P.10 参照)
13. RGBHV 出力端子
14. PAL/NTSC Y/C(S-ビデオ)出力端子
15. PAL/NTSC コンポジットビデオ出力端子
16. USB ポート端子 (P.8 参照)
17. RS232 シリアルコントロール入力端子(P.10 参照)
18. 電源入力端子(12V)
19. ライトボックス用 DC 出力端子

セッティング



1．折りたたみ用リング[#8]を引き上げます。
2．ビデオカメラヘッド[#1]を回して、ワーキング プレート上の被写体に向けます。
3．DC 入力端子[#18]に電源アダプターを接続します。
4．モニター、プロジェクター、テレビ会議システム等を適切な出力端子([#12]～[#16])に接続します。

> 重要: 正しい出力端子の選択についての詳細は 5 ページをご参照ください。

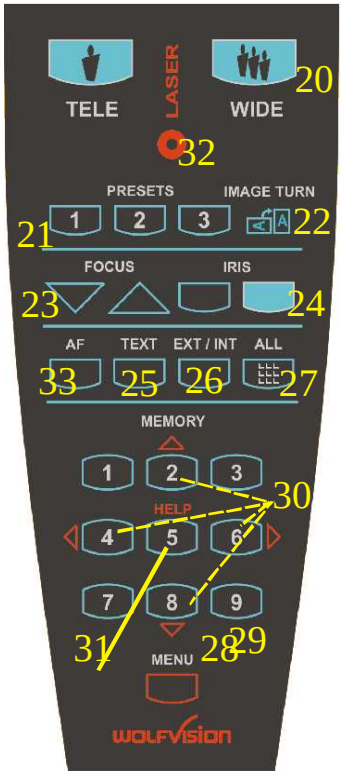
5．電源スイッチ[#5]をオンにしてください。

パワーオンプリセット

本体の電源スイッチを入れると、パワーオンプリセット機能が自動的に作動し、ズームサイズ 20×15cm(A5 サイズ)で、オートフォーカス･オートアイリスがオンの状態にセットされます。

赤外線リモートコントロール

ヴォルフビジョンのポータブルシリーズは本体に 5 つのボタンしかないので、誰でも説明書なしで使用できます。中級･上級ユーザーの方は赤外線リモートコントロールを用いてさらに様々な操作が行えます。



＃２０　ズーム

重要なボタンなので、目立つ色にしてあります。
また、カメラヘッドにも同じ機能のボタンがあります。

＃２１　プリセット (ユーザー設定可)

プリセットボタンを 2 秒以上押すと登録できます。
登録したプリセットを呼び出すにはボタンを素早く押して下さい。
(詳細は 7 ページに記載しています)

＃２２　イメージターン

A4 縦サイズの原稿全体を解像度を上げた状態で撮影できます。
(詳細は 8 ページに記載しています)

＃２３　マニュアルフォーカス調整

フォーカスボタンを押すとビジュアライザーのオートフォーカス機能が解除されます。次にズームボタンを押すとオートフォーカス機能が復帰します。

＃２４　マニュアルアイリス (明るさ調整)

アイリスボタンを押すとビジュアライザーの自動明るさ調整機能が解除されます。次にズームボタンを押すと機能が復帰します。
　上級ユーザーへ：全体的なアイリスレベルはオンスクリーンメニューで調整できます。(詳細は 9 ページに記載しています)

＃２５　文字誇張機能

文字を強調し、読みやすくします。(詳細は 7 ページに記載しています)

> 重要：この機能をお使いのときに、映像が暗くなった場合にはこの機能を解除してください。
> 　　マニュアルアイリス調整でこの暗さを修正しないでください。

＃２６　外部入力切り替え (EXT/INT) キー

外部入力とビジュアライザーの画像を切り替える時に使います。(詳細は 9 ページに記載しています)

＃２７　ALL キー

メモリーにある 9 つすべての映像を分割して表示します。(詳細は 8 ページに記載しています)

＃２８　メニューキー

スクリーンにメニューを表示させます。(詳細は 9 ページに記載しています)

＃２９　メモリー保存、呼び出しキー

1 から 9 番までのキーに写真を保存でき、かつ表示させることができます。(詳細は 8 ページに記載しています)

＃３０　矢印キー (MEMORY キーの 2,4,6,8 番と二重機能)

矢印キーを使い、スクリーン上のメニューを操作できます。(詳細は 9 ページに記載しています)

＃３１　オンスクリーンメニュー用 HELP/RESET キー (MEMORY キーの 5 番と二重機能)

スクリーン上のメニューを操作している時、5 番キーを押すと HELP 画面がでます。
このキーを 2 秒押すと選択したメニュー項目がリセットされます。(詳細は 9 ページに記載しています)

＃３２　レーザーポインターキー

重要：目に悪影響を及ぼす恐れがありますので、レーザービームを凝視しないで下さい。

＃３３　AUTO FOCUS (AF) キー

オートフォーカスのオン･オフを切り替えます。

正しい出力モードの選択 (SXGA/XGA/SVGA で75 または 60Hz)

RGBHV 出力、DVI 出力[#13,#12]は、以下の信号フォーマットにて出力可能です。

- SXGA (1280X1024 ピクセル) at 60Hz
- XGA (1024x768 ピクセル) at 75Hz (解像度認識をリセットした場合のデフォルト設定)
- XGA(1024x768 ピクセル) at 60Hz (自動解像度認識が機能しない場合のデフォルト設定)
- SVGA (800x600 ピクセル) at 75Hz
- SVGA(800x600 ピクセル) at 60Hz

デフォルト設定とは「**自動解像度認識**」機能が働くことです。このモードでは、どの機器が RGBHV[#13]と DVI 出力[#12]に接続されているかをビジュアライザーが継続的に調べ、接続されている<u>すべて</u>の機器に合う理想的な出力モードに自動的に設定されます。接続されている機器又はケーブルがプラグアンドプレイ対応しない場合、ビジュアライザーはディスプレイ可能な解像度を調べることができないので注意して下さい。ビジュアライザーが**すべて**の接続機器の解像度を見つけることができない場合には、XGA (1024×768) ／60Hz がデフォルトとして出力設定されます。(*プラグアンドプレイ対応ケーブルは両端の接続部分が 15 ピンプラグになっています)

「自動解像度認識」機能を使用しない場合は、出力モードをスクリーンメニュー (9 ページ参照) で、あるいは以下のキーを同時に押すことにより手動で切替え可能です。カメラ部の 2 つの ZOOM[#10]+リモコンの 8 番 (下矢印) キー[#29]でより低い出力モード、カメラ部の 2 つの ZOOM[#10]+リモコンの 3 番 (上矢印) キー[#29]でより高い出力モードに設定されます。スタート時のデフォルト設定: XGA (1024x 768) /75Hz 出力にリセットするには、カメラ部の 2 つの ZOOM[#10]+リモコンの 5 番キー[#31]を同時に押してください。

最高の画質を得るには、使用するディスプレイ機器 (LCD or DLP or モニター) のネイティブ解像度に合った出力モードにビジュアライザーを設定してください。

<u>重要</u>: ここで言うプロジェクターまたはモニターのネイティブ解像度とは、(圧縮モードにて)ディスプレイ出来る最高の解像度ではなく、実際のピクセル数を言います。大抵の LCD 或いは DLP プロジェクターは、実際のピクセル数以上の解像度をディスプレイすることが出来ますが、圧縮モードのみで画質は劣ります。**使用するディスプレイのネイティブ解像度よりも高い出力モードに設定しないでください。**

CRT モニターやプロジェクターに出力する場合は、出力モードを 75Hz にして下さい。60Hz ではフリッカー現象が見られる可能性があります。LCD･DLP プロジェクター或いは LCD モニターやテレビ会議システムには 60Hz が最適です。どのモードが最適かわからない場合は、接続機器の取扱説明書をご覧下さい。

PAL/NTSC ビデオ出力

Y/C(S-Video)[#14]出力に対するコンポジットビデオ出力[#15]は、オンスクリーンメニュー(9 ページ参照)で PAL か NTSC どちらかを選んで設定することができます。カメラヘッドの 2 つの ZOOM[#10]キーとリモコンの PRESET1 (PAL) と PRESET2 (NTSC) キー[#21]を同時に押しても切り替え可能です。

しかし PAL/NTSC ビデオ方式の限界と、オリジナルのビデオ信号ではなく単にプログレッシブスキャン信号から変換されただけにすぎないという理由から、画質はデータ出力[#12, #13]よりも劣ります。

Y/C(S-Video)[#14]出力の画質は、コンポジット[#15] ビデオ出力の画質よりも優れています。

外部入力[#11]からの画像は、Y/C(S-Video)及びコンポジット出力に出力されませんので注意してください。

オートフォーカス

本体の電源スイッチを入れると、オートフォーカス機能が自動的に作動し、継続的にフォーカス調整が行われます。オートフォーカス作動中はオートフォーカス ON/OFF スイッチ[#9]横の緑色のライトが点灯します。

白紙など、コントラストが極めて弱い被写体に対してはオートフォーカスが機能しにくくなることがありますのでご注意ください。また、オートフォーカスが作動しない場合は被写体を少し動かしてください。

オートフォーカス機能はオートフォーカス ON/OFF スイッチ[#9]を OFF にすれば解除されます。また、リモートコントロールの手動ズームボタンを押した場合もオートフォーカス機能が解除されます。

マニュアルフォーカス

赤外線リモートコントロールのフォーカスキーで調整出来ますが、赤外線リモートコントロールを使用しない場合、以下のように調整を行えます。

1. 被写体をフォーカスしたい位置に置くと、オートフォーカスが働きます。
2. オートフォーカス ON/OFF スイッチ[#9]を OFF にすれば、そのフォーカスが固定されます。

ヴォルフビジョン ライトボックス(オプション)：

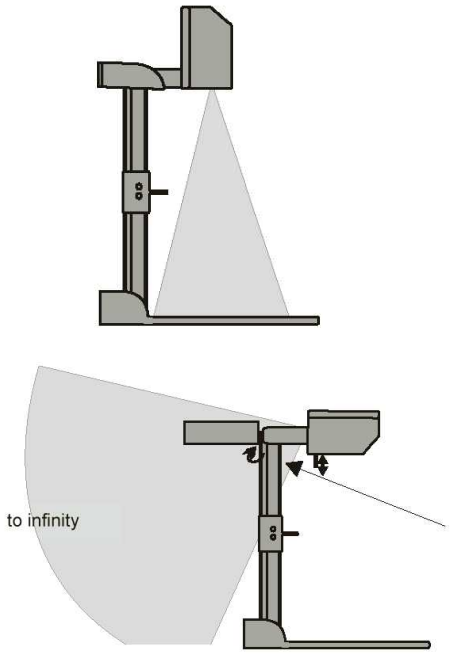
ビジュアライザー本体裏側のライトボックス用コネクター[#19]にライトボックスの電源コードを接続します。本体のライトスイッチ[#6]で本体とライトボックスのライトが切り替えられます。

他のライトボックスを使用する場合：

反射を防ぐためにビジュアライザー本体のライトを必ず切ってください。

デジタルズーム

VZ-8plus は 12 倍の光学ズームとデジタルズームを合わせた 24 倍ズームを備えています。デジタルズームを使用しない場合のワーキングプレート上での最小撮影範囲は 29×38.5mm ですが、さらにズームアップすると自動的にデジタルズームが作動し、最小撮影範囲は 14.5×19mm となります。但し、デジタルズームを使用した画像の解像度は、使用前の解像度より劣ります。デジタルズーム領域に入る際にスクリーン上にメッセージが現れるのはデフォルト設定です。
ビジュアライザーのデジタルズームモードはオンスクリーンメニューで変更可能です (9 ページ参照)。



ワーキングプレート内の撮影範囲

写真などの光沢のある被写体を撮影する場合は、光の反射を押えるために、ライト向きをやや後方にずらしてください。室内の照明による反射にも注意してください。

ワーキングプレート外の撮影範囲

ワーキングプレート外の被写体にライトを当てて撮影する場合、ビジュアライザー本体のライトを水平方向に 250 度まで回転させることができます。

ワーキングプレート外で遠距離の被写体を撮影する場合は、カメラヘッドよりクローズアップレンズ[#7]をロックがかかる位置まで引き出してください。クローズアップレンズは本体

から取り外すことはできないため、紛失する恐れはありません。カメラヘッドを標準の撮影位置に戻す前に、クローズアップレンズを押し込んで元の位置に戻して下さい。

ホワイトバランスの調整

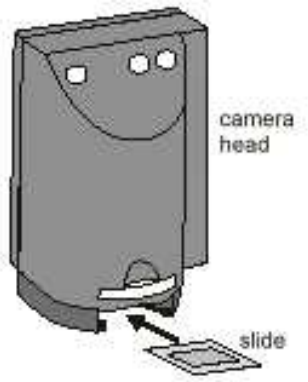
色の再現性を最適化するために、カメラのホワイトバランスを調整する必要があります。工場出荷時は、**「自動調整モード」**に設定してありますので、ホワイトバランス機能が継続的に作動します。再生された色が正しくない場合には、被写体を少し動かすと調整が完了します。しかし、「自動調整モード」のホワイトバランスは 100%完全ではありません。

より正確なホワイトバランス調整には、**「ワンプッシュ」**ホワイトバランス機能を使用します。白い紙をワーキングプレートに置いて完全にズームアップし、ライトスイッチ[#6]を 3 秒間押すと、スクリーン上にメッセージが現れ、ホワイトバランスが再調整されます。ホワイトバランス設定が保存されている場合は、スクリーン上にメッセージが表示されます。**「ワンプッシュ」**モードに設定すると、自動調整モードが解除され、電源を切ってもそのホワイトバランスがメモリーに保存されます。

照明条件が変わった場合は（異なる明るさの室内灯や太陽光など）ホワイトバランスを再調整して下さい。

上級ユーザーへ：自動調整モード、ワンプッシュモード、手動モードはオンスクリーンメニューで選択できます（9 ページ参照）。ネガフィルムやオプションのライトボックスを使用する場合は、ホワイトバランス調整用にフィルムの黒い部分を使ってください。

スライドドロワー



ワーキングプレート上に何も置かれていないことを確認し(**重要**)、スライドドロワーにスライドを挿入してください。カメラはスライドを自動的に認識し、スライドにフォーカスされます。

スライドにフォーカスされない場合は、

- スライドがきっちりと挿入されていること
- ズームキー[#10 または#20]にて、ズームが最大位置(=最小撮影範囲)でないことを確認してください。

文字誇張機能

文字、スケッチ及び X 線写真を見やすくしたい場合、TEXT[#25]キーを押します。

このモードは画像の明暗コントラストを強調しますが、色調は通常よりも暗くなりますので注意してください。

TEXT[#25]キーを再度押せば機能は解除されます。機能の作動中はスクリーン上に“TEXT MODE”と表示され続けるので、必要のない時には解除することをユーザーに促します。この表示をオンスクリーンメニューで消すことはできますが（9 ページ参照）、操作を誤ってしまう可能性が高くなるため、お勧めできません。表示が暗くなると、TEXT キーを押さずに誤ってアイリス機能を操作してしまうため、最適な表示ができなくなってしまいます。

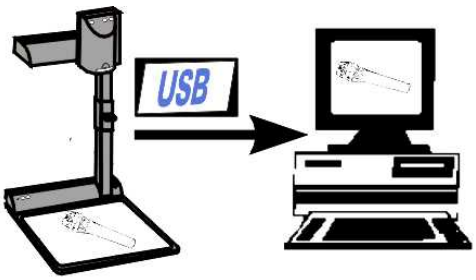
プリセット機能

VZ-8plus はリモートコントロール上の 3 つのプリセットキー[#21]を押すことによって現在の設定を保存したり、呼び出したりすることができます。

プリセットをプログラムする場合は、それぞれの機能を必要に応じて調整し、そして PRESET キーの 1 つを 2 秒以上押しつづけてください。そのプリセットが保存されたことがオンスクリーンメニューに表示されます。

上記のように操作すれば、ズーム、フォーカス、アイリスの現行の設定はプリセットに保存されます。また、“Negative”(ネガポジ反転),“Negative/Blue”(ネガ-ブルー反転),“Black/White”(白黒反転)といった特定の機能を PRESET キーに指定できます。これらの設定は、オンスクリーンメニューにて行ってください。(9 ページ参照)

USB ポート



USB 出力により、コンピュータへの画像の取り込みがわずか 2 秒で簡単にできるので、グラバーカードのような追加ハードウェアを使わずに VZ-8plus を 3D スキャナーとして利用することが可能です。USB ポート[#16]とコンピュータを付属の USB ケーブルで繋ぐだけです。

USB ソフトウェアは、ヴォルフビジョンのインターネットホームページでダウンロードするか CD-ROM から無償で入手することが出来ます。このソフトウェアは Windows 98/ME/2000/XP 対応ですが、Windows95/NT は USB サポートがないため対応しておりません。

http://www.wolfvision.co.jp

9-イメージメモリー

9 画像の保存が可能で、リモートコントロールの数字キー[#29]で呼び出しができます。

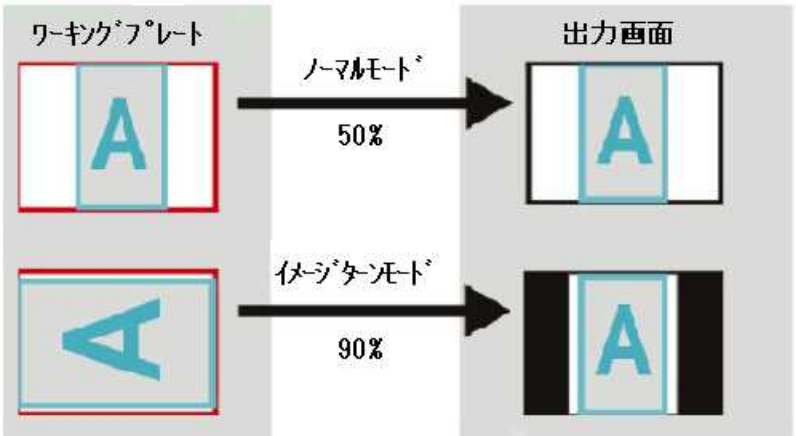
画像保存: 保存したいメモリー番号[#29]を 2 秒以上押す
画像呼出: 呼出したメモリー番号[#29]を素早く押す

ALL キー[#27]を押すと、9 分割画面があらわれます。9 画面を素早く保存したい場合は、ALL キー[#27]を 4 秒間押して下さい。メモリーがフルになるまで毎秒保存されます。また、バッテリーバックアップメモリーを搭載しているので、1～4 週間電源が接続されていなくてもメモリーを保存できます。

イメージターンモード (解像度アップ機能)

A4 サイズの縦型ページ全体を読み取るのはビジュアライザーにとって難問でした。読み取る画像は横向きになるため、縦型の文書の撮影ではカメラの有効画素が 50%しか使用されないからです。しかし、ヴォルフビジョンの「**解像度アップ**」機能がこの問題を解決しました。

ワーキングプレート上に文書や縦長の被写体を横向きに置き、ズームを最大に拡大すると、カメラの有効画素のおよそ 90%が使用されます。そして IMAGE TURN キー[#22]を押せば、電気的に画像を 90 度回転し、縦型でありながら**解像度が 40%向上した状態**で出力されるのです。左右の余白は黒く表示されます。



外部入力

ビジュアライザーの External RGBHV 入力[#11]にコンピュータを接続してください。Ext/Int スイッチ[#26]で、コンピュータの画像とビジュアライザーの画像との切り替えが出来ます。
コンピュータの信号フォーマットは、加工されているのではなくループされているだけです。あらかじめコンピュータの出力(SXGA/XGA/SVGA)と垂直周波数(75Hz/60Hz)をビジュアライザーと同じ設定にしておけば、モニターやプロジェクターの調整は不要となります。デフォルト設定は **XGA (1024×768) /60Hz**です。
External RGBHV 入力[#11]からの画像は、DVI 出力[#12]のアナログセクションで表示されます。デジタルセクションからは出力されませんのでご注意ください。(10 ページ参照)

==========以下項目は、中・上級ユーザー用です==========

オンスクリーンメニュー/オンスクリーンヘルプ

標準的な使用においては、メニュー機能の使用や設定変更を行う必要はありません。あまり操作に慣れていないユーザーの方は無理に調整しないことをお勧めします。
1 秒間 MENU[#28]キーを押すと、オンスクリーンメニューが現れます。ビジュアライザーの基本機能や内蔵カメラの設定は、4 つの SELECT[#30] (赤い矢印の番号) キーで行えます。但し、最初に「Format Protect」を「OFF」にしないと変更できない設定もありますので注意してください。
オンスクリーンメニューのより詳細の情報が必要な場合、カーソルをあわせ、HELP[#31] (5 番キーと二重機能) キーを押せば、スクリーン上にこの機能の詳細内容が現れます。選択した項目をデフォルト設定にリセットしたい場合には、5 番[#31]キーを 2 秒間押してください。
HELP メニューはソフトウェアに統合されているので ON SCREEN MENU の機能はこの説明書には詳しく説明されていません。スクリーン上の情報は常にその時点のソフトウェア (ファームウェア) に属しています。

オンスクリーンメニュー設定のリセット

すべてのオンスクリーンメニューは工場出荷時のデフォルト設定に戻すことができます。「Reset」はメニューにおける 1 アイテムです。スクリーンのメニューが読取れない場合は、カメラヘッドの 2 つの ZOOM[#10]キーとリモコンの 4 番[#29] (左矢印) キーを同時に押せば、工場出荷時のデフォルト設定に戻ります。選択したアイテムだけをデフォルト設定に戻したい場合には、5 番[#31]キーを 2 秒間押してください。

ネガ反転 / ネガ-ブルー反転 / 黒白反転

オンスクリーンメニューで、出力画像のネガポジ反転が可能です。文字が多い場合は、ネガ-ブルー反転がより見やすくなります。同様に、黒白反転も可能です。
ご参考まで:これらの機能を良く利用する場合は、PRESET キー (7 ページ参照) に登録しておくと便利です。

自動電源オフ

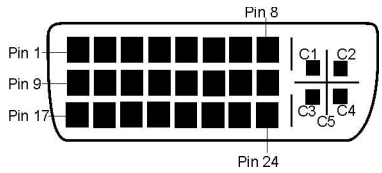
ビジュアライザーを一定期間使用しない場合には、オンスクリーンメニューの「Power Control」で自動的に電源が切れるように設定できます。

コントラスト（カラー）の標準設定を変更する

画像や色が暗い場合には、オンスクリーンメニューの「Color Settings」で全体的なコントラストを低くすることができます。この設定は、通常モードや TEXT モードとは独立して行うことが可能です。

DVI ポート

DVI ポートはデジタル及びアナログセクションに分かれています。**外部入力（#11）からの映像はアナログセクションからのみ出力されるので注意してください。**



1 - T.M.D.S. Data2-	9 - T.M.D.S. Data1-	17 - T.M.D.S. Data0-
2 - T.M.D.S. Data2+	10 - T.M.D.S. Data1+	18 - T.M.D.S. Data0+
3 - T.M.D.S. Data2/4 Shield	11 - T.M.D.S. Data1/3 Shield	19 - T.M.D.S. Data0/5 Shield
4 - T.M.D.S. Data4- *(not used)*	12 - T.M.D.S. Data3- *(not used)*	20 - T.M.D.S. Data5- *(not used)*
5 - T.M.D.S. Data4+*(not used)*	13 - T.M.D.S. Data3+ *(not used)*	21 - T.M.D.S. Data5+ *(not used)*
6 - DDC Clock	14 - +5V Power	22 - T.M.D.S. Clock+
7 - DDC Data	15 - Ground (return for +5V, HSync and VSync)	23 - T.M.D.S. Clock-
8 - Analog Vertical Sync	16 - Hot Plug Detect	24 - Analog Vertical Sync
C1 - Analog Red	C2 - Analog Green	C3 - Analog Blue
C4 - Analog Horizontal Sync	C5 - Analog Ground (analog R, G & B return)	

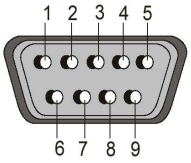
ソフトウェアアップグレード

オンスクリーンメニューの HELP 機能を含むソフトウェア（ファームウェア）は、簡単に最新バージョンにアップグレード可能です。まずヴォルフビジョンのホームページ http://www.wolfvision.co.jp で最新ファームウェアとファームウェアアップグレードユーティリティープログラムをダウンロードして下さい。RS232 クロスケーブルをビジュアライザーとコンピュータに接続し、ユーティリティープログラムを起動します。詳細についてはヴォルフビジョンのホームページで確認してください。

シリアルコントロール入力/RS232

シリアルポートを使えば会議室の遠隔操作システムのような外部装置からビジュアライザーをコントロールできます。

シリアルプロトコルについての詳細についてはヴォルフビジョンのホームページで確認できます。 http://www.wolfvision.co.jp



9-pin D-Sub connector on unit
male, front side

Function:	Decimal-Code :
Image on	192
Iris open	193
Focus far	194
Zoom wide	195
Image off	196
Iris close	197
Focus near	198
Zoom tele	199
Preset 1	202
Preset 2	203
Save Preset 1	216
Save Preset 2	217
Preset max. wide	229
Preset A5	231
Preset A6	232
Preset max. tele	235

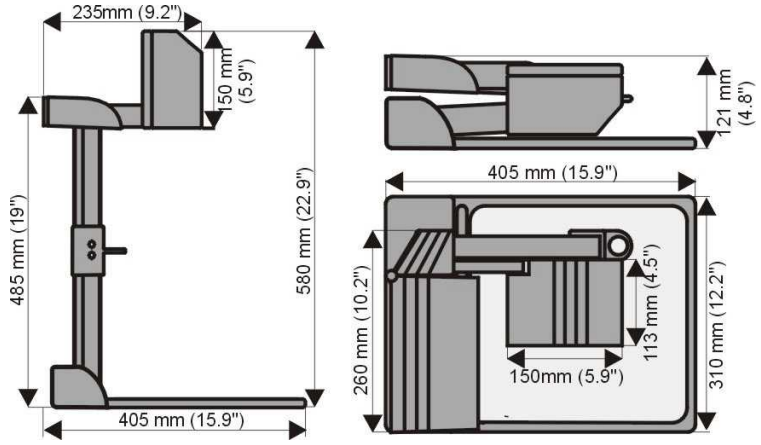
Pins: 2: RX, 3: TX, 5: GND, 7: RTS, 8: CTS
Baud rate: 19200 or 9600, databits: 8, stopbit: 1, parity: no
Please note that Decimal-Codes (=ASCII-Codes or Hex-Codes)
must be sent as one single byte (e.g. 199 and not: 1 + 1 + 9) !

機器仕様

仕様は予告なく変更される場合があります

内蔵カメラ	1 CCD - 1/3" プログレッシブスキャン
出力形態	SXGA/XGA/SVGA (切り替え可能) , NTSC (切り替え可能) , USB1.1, DVI
フレーム数(毎秒)	20フレーム (スムーズモーション)
水平解像度	640本(画面端まで鮮明)
垂直解像度（映像のいずれかの部分で テストチャートを使って測定）	640本 解像度アップ機能時:820本
垂直解像度（上部から下部までの本数）	490本 (解像度アップ機能時:640本)
解像度アップ機能	有 (アメリカリーガルサイズのまでの大きさ)
有効画素数	1024×768
CCD総画素数	85万画素
色再生	くっきり鮮明
垂直周波数	プログレッシブスキャン: 75 Hz/60 Hz (切り替え可能) , PAL:50Hz, NTSC:60 Hz
水平周波数	15.7 kHz/37.3 – 80 kHz
信号フォーマット	ノンインターレース/インターレース
アイリス	オート / 手動
ホワイトバランス	オート / 手動
オートフォーカス	有
マニュアルフォーカス	可 (メニューでオート・マニュアルの優先切り替えも可能)
文字誇張機能	有
オンスクリーンメニュー	有 (HELP機能を含む)
ファームウェアアップグレード	可 (インターネットからダウンロード)
レンズ/ズーム	24倍ズーム (12倍光学ズーム＋2倍デジタルズーム)
被写体最大高度	テレ側:120mm ワイド側:370mm
最大撮影範囲	長さ::370mm 幅: 276 mm
最大撮影範囲 (解像度アップ時)	長さ::276mm 幅: 370 mm
最小撮影範囲(光学ズーム最大時)	38.5 x 29 mm
最小撮影範囲(デジタルズーム時)	19 x 14.5 mm
ワーキングプレート外の最大撮影範囲	無限
被写界深度	小サイズ (42x33 mm) の場合: 10 mm/大サイズ (360x270 mm) の場合: 290 mm
光の漏れ	なし
発表者・聴衆のまぶしさ	なし
光 源	高周波蛍光ランプ
USBソフトウェア (画像取り込み・操作用)	含、Windows98/2000/ME/XP対応、USB1.1 取り込み所要時間:2秒
無反射範囲(ワーキングプレート上)	284 x 230 mm
ワーキングプレート外の撮影	可
独自の収納システム	有
ユーザー設定プリセット機能	3 (RS232を通してさらに 8)
特殊表面加工ワーキングプレート	有 (透過原稿用)
スライドドロワー	有
コンピューター入力/入力切り替え	可 (15ピンD-Subプラグ) 、ループスルー
イメージメモリー	9 画像 (バッテリーバックアップで電源を消しても保存可能)
9分割イメージメモリー	有 (その時点で保存されている9画像すべてを分割表示)
反転表示機能	ネガポジ反転、ネガ-ブルー反転、白黒反転
PAL/NTSCビデオ出力	S-ビデオ (Y/C) 4ピンプラグ・コンポジットビデオ (RCAプラグ)
RGBHV (データRGB) 出力	15ピンD-Subプラグ (SXGA, XGA, SVGA信号)
DVI端子 (SXGA, XGA, SVGA信号)	DVI-I (デジタル・アナログ)
USBポート	有

RS232ポート及びシリアルプロトコル	9ピンD-Subプラグ（位置設定とステイタスリポート用）
重量/携帯性	約 4.5 kg / 持ち運び可能
赤外線リモコン（レーザーポインター付）	有
動力源（外部取り付け電源パック）	マルチレンジ100-240V，重さ：0.3ｋｇ
キャリングケース	有（サイドポケット付ソフトケース）
生産国	オーストリア）（EU）



◎ランプ交換方法：

1. 電源コードをぬいて下さい。
2. ランプ部のガラスを取りはずして下さい。
3. 安全クリップを取りはずして下さい。
4. ランプを交換して下さい。

※使用後高熱注意

ランプタイプ：Osyam Dulux S/E 9W/21 或いは同等品

製品保証について

1. お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合は、製品のお買上げいただいた販売店までご連絡ください。保証期間内は無料で修理させていただきます。

保証期間はお買い求めになった日から 2 年間です。

2. 次のような場合には、保証期間内であっても無料修理の対象外とさせていただきます。

①使用上の誤りによる故障および本製品を改造した場合の故障。

②お買上げ後の輸送や衝撃、落下、異常電圧、自然災害、その他、当社とは無関係な事柄により生じた故障。

③接続している他の機器、またはその他の外部要因によって本製品に故障が生じた場合。

3. 本製品の故障、またはその使用中に生じた直接的あるいは間接的な損害につきましては、当社はその責任を負うものではありません。

4. 本保証は、日本国内においてのみ有効です。

◆便利メモ(お買上げ時に、ご記入ください)◆

お買上げ 年　月　日	年　月　日	品　番 シリアル No.	
お買上げの 販売店名	TEL　(　)　/ FAX　(　)		
お近くの当社 相談窓口	TEL　(　)　/ FAX　(　)		

株式会社　ヴォルフビジョン

〒164-0003　東京都中野区東中野 2-1-6
ニッショウ東中野ビル 2F
TEL 03(3360)3231 / FAX 03(3360)3236

(Publ.2003.08)